

呼吸器外科

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

科 長（教授）	遠藤 俊輔 （センター長）
医 員（教授）	坪地 宏嘉
（講師）	峯岸健太郎
（助教）	曾我部将哉
シニアレジデント	3名

2. 当科の特徴

呼吸器外科は、肺癌、感染性肺疾患、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、重症筋無力症などの疾患に対して外科的治療を行っている。また、気道病変に対して硬性気管支鏡を含めた気道インターベンションを積極的に行っている。

1990年2月の第1例目の自然気胸手術から1992年度には手術症例数が50例を越え、1998年度には年間手術症例数が70例になった。呼吸器外科疾患の近年の需要に対応するため、2005年からは自治医科大学附属病院呼吸器外科から遠藤が赴任し、一診療科として独立した。2024年の手術症例は748例と、週平均約14件の手術を行った。肺癌手術症例は278例であり、過去最多の症例数であった。

当科では胸腔鏡手術を積極的に行っており、早期の肺癌はもとより、進行肺癌症例に対しても胸腔鏡手術を施行している。通常の手術と比較し手術後の痛みも軽度で、早期の社会復帰を可能にしている。また術後にPET検査を行い再発肺がんの早期診断治療に心がけている。不幸にも再発した肺癌症例でも呼吸器科、放射線治療科と共同で再手術を含めた最善の治療を行っている。

・認定施設

外科専門医制度修練指定施設
呼吸器外科専門研修基幹施設
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
がん治療認定医認定研修施設

・資格

日本外科学会指導医	遠藤俊輔 他1名
外科専門医	遠藤俊輔 他4名
日本呼吸器外科学会指導医	遠藤俊輔
呼吸器外科専門医	遠藤俊輔 他3名
日本呼吸器学会指導医	遠藤俊輔 他1名
呼吸器専門医	遠藤俊輔 他2名
気管支鏡指導医	遠藤俊輔 他2名

気管支鏡専門医

がん治療認定医

遠藤俊輔 他2名

峯岸健太郎

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

2024年の手術症例数 合計748例

疾患	手術数
原発性肺癌	278
転移性肺腫瘍	58
縦隔腫瘍	66
気胸	95
膿胸	107
気管支鏡治療	25
その他	90

肺癌治療成績

当科で手術を行った肺癌の治療成績は、IA期92% IB期74% IIA期71% IIB期68% IIIA期46% IIIB期27%と良好な成績であった。

4. カンファランス

呼吸器系合同カンファランス（内科・外科・放射線科・病理）

毎週水曜日 17:30 本館5階カンファランス室

呼吸器外科カンファランス

毎週月・木曜日 8:00 本館5階カンファランス室

外科系合同カンファランス（消化器・呼吸器・循環器）

毎月第4月曜日 18:00 南館2階講堂

5. 研究・学会活動

原著論文	4編
学会発表	37題
著書・総説	1編
研究会講演	6題

6. 事業計画

2024年の目標達成度

手術症例数は748例で、過去最高数の手術を行った。肺癌に対する胸腔鏡手術についての治療成績は、急性期と遠隔期いずれも満足できる結果が得られた。

2025年の目標

主幹として新たな遺伝子解析手法研究の多施設共同研究を開始する。また、引き続き摘出肺癌の遺伝子解析による術後のオーダーメイド治療に関する研究やバイオマーカーに関する研究を進めるとともに、再発癌や二次

癌、術前化学療法/化学放射線療法後の症例の対する外科治療成績を向上させる。また、学会発表活動をさらに活発にし、論文発表数の増加に努める。